

令和4年11月

発 行/広島県印刷工業組合 発行人/中本 俊之 広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954 URL: http://www.hiroshima-pia.jp E-mail: h.inkumi@estate.ocn.ne.jp



#### 「第4回拡大理事会」開催

[DTP技能検定]実技·学科試験事前研修者募集

「2022全印工連フォーラム」

滝澤光正全印工連会長メッセージ

各委員会報告

全印工連特別ライセンス

プログラム事業について

「2023全日本印刷文化典広島大会」のPR

事務局だより 永年勤続従業員の表彰募集

## 秋空に映えるススキ」(シロガネヨシ)

今年の秋も昨年と同様に、急に夏から秋を飛び越し冬になった ような気がします。また慣れですか、コロナ感染者の数値にもあ まり驚くことが無くなったように感じます。しかし、寒くなって、 また一層強くなったウイルスが暴れないことを祈るばかりです。

写真は野のススキに似ていますが、穂が大きくフサフサして高 さは2~3mにもなる大型の常緑多年草で、「シロガネヨシ」と いいます。寒さに弱く関東地方以南生息、日当たりの良い場所で 土質は選びません。ススキと同種なので葉に触ると手を切ること があります、ご注意を!また、大株になるので植える鉢や場所を 選んでください。

全国旅行支援も始まりました。久しぶりの旅にスポーツに食欲 の秋を楽しんでください。

#### 「役員会レポート」

## 第4回拡大理事会を開催

10月5日(水)午後2時20分より、拡大理事会が広島印刷会館会議室で開催され、理事長をはじめ役員22名が出席し開催された。この会議の前に開催が迫ってきた夢メッセ三役会議を行いチケットの販売についてもう少し頑張るように気合合わせを行った。

始めに中本実行委員長より「先週名古屋市に於いて全印工連フォーラムが開催され、全国から310名が参加しました。そこでSOPTEC、HOPE 開催模様を聞くことができ、やっぱりコロナの件で来場者が少なかったとのことでしたが、ああいう場で皆さんの情報提供が行われるということは本当に大事だと思われたそうです。そして、もちろん2023印刷文化典広島大会のPRもしてきました。当夢メッセも2週間先となりましたが、皆さんのご協力により成功裏に終えたいのでチケットの販売をよろしくお願いいたします」と挨拶があり議題に入った。

#### 【議題】

始めに理事長から理事長会の資料説明あり

- (1) 2022 印刷産業夢メッセの申し込み状況について 支部長からの見通しについて報告 (組合員台帳報告も同様に)
- (2) 2022 印刷産業夢メッセの運営要領の説明について
- (3) 組合員異動報告
- (4) その他



#### 【お知らせ】

### ○ 「DTP技能検定」実技・学科試験事前研修者募集について

標記については、下記の要領で準備を進めております。

要 旨:DTP 技能検定の実技試験・学科試験事前研修です。

過去の学科試験問題の解説を使用したセミナーを設け、受検者の実技試験・学科試験対策のサポートをします。

開催日:令和4年12月9日(金)

実技研修 10 時 00 分~ 12 時 00 分 学科研修 13 時 30 分~ 16 時 30 分 (Webで受講)

場 所:広島印刷会館 2階会議室

講 師:実技研修 宮本 孝行 講師(㈱中本本店) 学科研修 有賀 誠 講師(全印工連 講師)

対 象: 令和4年度 技能検定プリプレス職種 (DTP 作業) 申込者及び組合員で次回の受検に備えての受講も可(全組合員可)

その他:受講料は無料

◎受講をご希望の方は、会社名・氏名をご記入の上、11月18日(金)までにご連絡ください。広島県印刷工業組合事務局 Tal 082 - 293 - 0906



https://www.art-g.co.jp/

アート印刷株式会社 〒720-0077 広島県福山市南本庄-丁目10番38号 TEL.084-924-5588代 FAX.084-931-9360



#### 【2022 全印工連フォーラム】

#### 全国から 310 名が名古屋に集う! 広島県工組は「2023 印刷文化典広島大会」をアピール

9月30日(金)、名古屋東急ホテルに於いて「2022全印工連フォーラム」が、3年振りに310人が参加してリアル開催された。13時から理事長会、各委員会、青年部会代表者会議が7部屋で、14時35分からは一同が集まり全体会議が、その中で滝澤会長がDX事業で構造改革を宣言された。次に各委員長等からの報告、DX事業についてのパネルディスカッション、特別ライセンスプログラム事業、そして、我々の「2023印刷文化典広島大会」のPRと続いた。その後参加者での懇親会が盛大に行われた。前日には「全印工連CSRサミット2022」がウインク愛知で145名が参加し開催された。

#### <鳥原全印工連副会長 (愛知県組理事長)歓迎のあいさつ>

3年ぶりの全国の仲間が、このように愛知に集まっていただきました。コロナ禍も、もう2年、3年と経ち、終息をしそうな雰囲気にありながらまたぶり返して、あっという間に時間が経ってしまいました。しかしながら、そろそろ「コロナ」という言葉から脱して、新たな印刷業界の未来をつくりあげる、絶好の機会が来たのかなと思います。

コミュニケーションを図る時に、また、新たなことを 創造する時に、1つのキーワードがあると聞きます。志 を同じにする仲間が、同じ時間に、同じ場所で、同じこ とを考え議論する。今日は絶好の場です。充実した時間を、ぜひ、皆さんとともにつくりあげたいと思いますので、長い一日になりますが、よろしくお願いします。



#### <滝澤全印工連会長メッセージ>

ようやくこの日を迎えることができました。2年半前に臼田前会長よりバトンを受け継ぎ、全印工連の会長を拝命し、ご承知の通りのコロナの状況で、予定されていた長野県の印刷文化典も、2年にわたり開催を



探りましたが開催できず、結局、3年前の臼田前会長の時に行われた、大阪での全印工連フォーラム以来の全国大会です。

さて、本日のフォーラムの中心テーマは、DXです。現在、IoT、AI、あるいはビッグデータ、あるいはロボティクスなどの新たなテクノロジーが登場しておりますが、こうした新技術は、長期的、継続的には企業を成長させる決定打ではなく、あくまでも促進剤であると言われております。翻って私ども印刷業界も、古くは活版からオフセット、そして写植から電算写植、DTPへと飛躍的な技術革新を遂げましたが、それらは結局、それまで優秀であった会社がさらに優秀になったということはあっても、飛躍的に優位性の変化が生じたということは、長期的に見れば起こらなかったのではないかと思います。しかし、かと言って、これら技術に乗り遅れた会社は、やむなく衰退するというようなことも余儀なくされました。

企業の存続にとって何よりも重要なのは、ビジョンとミッションを明確にすることだということは、昨年全印工連が刊行いたしました『INSATSU未来トランス

フォーメーション』でも、強く訴えさせていただいたところです。つまり、自社は何を実現することを目的とし、そのために何を成し遂げるかということ。このビジョンとミッションを明確にし、そのうえで新たな技術、今日的に言えばデジタルツールであり、デジタルトランスフォーメーションの活用が、手段の一つとして考えられるのではないでしょうか。

全印工連では、もう17年にわたり業態変革を訴えてきました。業態変革とは、つまり、売り方、売り物、売り先、このいずれか1つを変革することです。このうえで大事なことは、繰り返しですが、ビジョン・ミッションを実現させるために、では何をどう変えるかと、その理念のもとに、新たな商材やビジネスモデルを実現する。物があふれ価値観が多様化した現在においては、変革の方向性は、もはや他社のケーススタディやビジネスモデルの真似に頼るだけでは解決できません。

今後は、各社が印刷をコアにそれぞれのお客様のニーズとウォンツに的確にこたえ、つまり、「印刷+α」のサービス。私たちの業界全体としては、単なる受注請負型の業態からいち早く脱却し、各社がそれぞれの特長を生かした、高付加価値コミュニケーションサービス産業への転換を目指さなければなりません。変革の方向性については、過去の全印工連の刊行物『印刷道』や、先ほど申し上げた『INSATSU未来トランスフォーメーション』で詳しく述べております。

ビジョンとミッションの重要性と業態変革について は、以上の通りですが、これらを成し遂げる促進剤と しての DX を本日紹介します。DX の定義や重要性につきましては、既にこれまでの地区協やセミナーでお伝えしてきました。DX とは単なる業務のデジタル化だけでなく、製品やサービスのデジタルも指すものです。データを活用した業態変革、データ化による生産性改善、データを活用した業務の自動化・効率化による既存事業の変革。さらには、製品やサービスのデジタル化を進め、新規事業を構築することがデジタルトランスフォーメーションです。DX とは、これらに取り組むことによる、企業文化の変革による競争上の優位性だと定義されております。

しかし、何から取り組めばいいのか。そこで、現在の全印工連プラットフォームを活かし、協力し合って全体で相乗効果を図ることです。受注の自動マッチングによりワークフローを効率化し、メーカー横断でデータのやり取りを自動化でき、準備や段取りを自動化することで稼働率は上がり、生産性は飛躍的に向上します。さらに、この DX-PLAT の稼働により、今後多くの取引きデータや生産データが蓄積されます。これらがさらに新たなマーケティング戦略や、設備投資戦略へとつながると思います。

DX-PLAT 運用のメリットは、4つあります。まず1つ、設備の稼働率向上と最適化。2つ目が、高度な品質や仕様、納期などを求められる仕事のコスト削減。3つ目が、受注業務や管理業務の合理化。そして最後に、それらによる新たな価値創出です。稼働率の低い設備のリプレイスや、人的資源の有効活用こそ事業存続に

は欠かせない。DX-PLATにより、自社の得意な仕事を集めて稼働率を高めて収益を上げ、発注者側にもその利益を還元する。このことによって、収益と余裕の時間が、新たな価値、そして新たな事業を生み出す源泉になるものと考えています。

重要なことは、繰り返しますが、自社のビジョンとミッションを明確にし、各社が事業領域を再構築すること。それに向かい、不要な設備を新たなワークフローへと進展させ、社員の皆さんの再教育リスキリングを行うこと。自社の向かいたい方向や強みを活かし、お客様や社会の課題解決に柔軟に対応できるように変革していくことが求められております。それには、自社にしかできない解決策を生み出す力が重要です。各社がさまざまに進化することで、印刷業界全体では多様性のある非同質化の状況へと進むことができるのではないでしょうか。そして、そこを全印工連としては目指しています。

独自の専門性を持った各社が DX-PLAT でつながり、 競争をすることで相乗効果が生まれる。全印工連の DX-PLAT を、ぜひ、よくご理解、正しくご理解をい ただき、自社の変革のツールとして、ぜひ、ご活用い ただきたいと考えております。そして、ともにこの新 たな時代における印刷産業を、高付加価値コミュニケー ションサービス産業へと進化させ、引き続き社会にお ける重要な産業として、プレゼンスを獲得してまいり たいと願っております。

#### 各委員会報告

#### <瀬田 産業戦略デザイン室>

産業戦略デザイン室は、全印工連の戦略について考える委員会です。そして長期・中期・短期の流れについて、委員のメンバーと議論を続けております。長期的に言



えば、2050年の産業ビジョン。これから30年後、社会がどのように変わり、情報コミュニケーションサービス産業として我々が社会にどういったことが貢献できるのか、どういうビジネスがそこに成り立つのか。こちらのほうを、いま研究しております。これは、来年の全国印刷文化典での発表を目指して、いま執筆中でございます。

続きまして、今日 DX-PLAT のこれから説明とパネルディスカッションもありますが、DX によってどのような価値が創出されるのか。こちらのほうも研究しておりまして、間もなくレポートを皆さんのほうに、PDF のかたちでご案内、配信します。全国で皆さんとお話をさせていただくと、まだまだ DX が何なのかと、何をするべきなのかということが、なかなか理解が難しいというお話もお聞きしますので、ぜひ、こちらのレポートをご覧いただき、自社の経営の1つの選択として活用してい

ただければと思っております。

続きまして、短期的な課題としましては、各県工組さまざまな課題がございます。組合員の脱退、それから事業運営。これについて、実際どのような課題があるのか、我々の委員が皆さまの地元にお伺いして、各県工組がいま抱えている課題について、膝を突き合わせてお話を聞かせていただきたいと思っております。全国の皆さん全てにお伺いできるわけではございませんが、いくつかの県工組にお邪魔いたしますので、ぜひ、忌憚のないご意見を拝聴できればと思います。

最後に、ケースメソッドの研究をしております。従来、 我々、ケーススタディ、いわゆる事例研究というのを 繰り返してきましたが、なかなか成功事例は上がって も、そういった成功のリソースというのは各社違いま すので、なかなか真似できないという現実があります。 そういうことで、アメリカの経済学院等で用いられる、 ケースメソッドという手法です。経営には型がありま すので、この型を一緒に勉強していこう、実践トレー ニングしていこう。このようなプログラムを、大印工 の皆さんにもご協力いただきまして開発中です。こち らのほうも、今年度に発表していきたいと考えており ます。

#### <小島 カーボンニュートラルPT>

カーボンニュートラルについては、なぜ取り組まなければならないのかという話になりますと、一義的には国によって法律で制定されたというところにあります。「改正地球



温暖化対策推進法」と今まで銘記されていまして、2050年までに実質カーボンの排出量をゼロにするというかたちになっております。

ただ、そうは言っても経済環境はかなり厳しくて、環境が大切なのは分かるし、カーボンニュートラルに対応しなければいけないというのは分かるのだけどね、という話をよく聞きますが、経済的な面でも取り組みをしなければならないという状況に今なっております。

例えば、サプライチェーンがあると思うのですが、大手の企業においては、カーボンニュートラルに取り組んでいない企業に対しては、発注をしないというような動きが出てきています。有名なところだと、アップルが100%の再生エネルギーを使っていないと取り引きをしないという話も、既に出てきています。

また、資金調達の面でも、ESGの融資とか投資ということで、直接、間接を問わずに、金融で調達する際に環境への取り組みをしていないと、もしくは、そのような情報も含めて、そういった取り組みを開示していないところは融資をしない。そういった流れに今なりつつあります。ですから、経済環境が悪いという状況ですけれ

ども、我々は取り組みをしなければいけないという状況に置かれています。

それも含め、やはりそういった環境への取り組みをしないと、次世代に今の環境を残すことはできないので、我々がいくら収益を上げても、世界がなくなってしまえば、もう意味がなくなってしまうという根本的な問題がありますので、我々はそういった対応をしなければいけないということで、いま取り組みを始めているというかたちになります。

今、大きな課題がありまして、カーボンニュートラルを実現するためには、再生可能エネルギーに対する取り組みをしなければなりません。また、自社の活動以外に排出をする CO2 の把握、スコープ3と言われるものですけれども、特に、印刷企業の場合はそのなかで印刷用紙ですね、こちらも対応しなければなりません。また、何より発注者がまだ環境に対する意識がないということがありますので、発注者への啓発もしなければなりません。

そういった課題を解決しつつ、我々のミッションとしては、全印工連のカーボンニュートラル指針というものを出しまして、何を、どのように、どの程度実現していくのかということを皆さまにお示しをしたいと思っております。経済合理性とその理念のバランスをとりながら、皆さまが取り組めるようなかたちで指針を取りまとめたいと思いますので、ぜひ、ご協力をお願いできればと思っています。

#### ※ まだ、委員会報告は続きますが、皆さまに色々な情報をお伝えするために次号以降に掲載します。









#### リコージャパン株式会社 PP事業部 中国グループ

〒730-0013

広島県広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー15F TEL:082-511-2475 FAX:082-511-2702

## **HEIDELBERG**

## **川イデルベルグ・ジャパン株式会社**

本 社 〒140-8541 東京都品川区東品川3-31-8 TEL 03-5715-7377 広島営業所 〒731-0121 広島市安佐南区中須1-1-12-1301号 TEL 082-846-4180 www.jp.heidelberg.com/

#### 全印工連特別ライセンスプログラム事業について≪富澤委員長≫

Adobe のライセンスプログラムについて、簡単に8つ の提言をします。

#### ●「圧倒的な価格と3年間の契約」

Adobe の市場価格は、10万1千244円は初年度、今年上がりましたが、来年もし10%ぐらい上がったとしたら11万円以上、3年目に上がっ

たら 12 万円以上。3年間で9万円以上の格差に。対して、全印工連は、3年契約なので、3年間の7万8千円、2年度目が8万2千800円、3年度でも8万2千800円。これが3年間の契約の良いところであり、お得感があります。

#### ●「全 OS 加入の呪縛」

これは誤解、12年前にこのプログラムが開始した時 は、「全OSを入れてください。会社にある全てのPC に加入してください」と。ですけど、今は全くありません。 皆さんから 12 年前の呪縛がまだあって、「今からでも 全台入らなくちゃいけないのでしょ」とか言われるけど 違います。誤解のないようにお願いします。簡単な例で は、全印工連のライセンスに入ってなくて、「5つライ センスを持っていますし、今使っていますよ」という会 社さんがあるかと思いますが、10月に切れるもの、来 年の1月に切れるもの、4月で切れるもの、バラバラに なっていて、「12月1日から5本入ってください」と いう意味ではありませんから、これをぜひ、理解してく ださい。「5本、今から入れ」と言われたら、「7月末に 切れるやつがもったいないな」と思いますけど、そうい うことでは全くありません。つまり、今切れるのは今か ら入って、今年の12月1日から新しいプランを申し込 んでください。ただし、来年の1月に切れるのは、2月 から入ってください。来年の4月に切れるのは、5月か ら入ってください。単純に12分の1、12分の2と割 る計算なので、本当に全印工連は商売っ気が無い感じで す。月単位、年単位、3年単位というと、やっぱり、結 構差が出るものです。これも覚えておいてください。

#### **●では、いつから加入すればいいか**

9月に切れる場合は、10月。明日からです。現行の契約では11月30日で終了して、12月1日から7万8千円になるから、7万8千円を待って12月1日から始めたらいいのだと考えると、大間違いです。今から入ってもらうと、10月、11月と2か月間はさっきの商売っ気無しで、12分の2の1万3千500円で使えることになるので、それが今回のつぼです。ここだけ理解してください。

#### ●個人版と法人版があるが

やはり個人版を使われている方がおられると思いますが、個人版のほうが7万2~3千円ぐらいなので、安いとかキャンペーンに入るともっと安くなるとか聞きますが、昨日 CSR サミットがありましたが、企業の CSR の在り方というのは、社会にとって正しい在り方、正しい

ことをやるということ。それが企業の在り方だという 説明もありました。個人版をいろいろと使われて固定 費を下げるという努力はあるとは思いますが、法人版 のほうが、企業として、仕事として、商用としてやる には正しいやり方だと思いますので、そのかたちで理 解してください。

#### ●「現在取引きしているベンダーさんのほうが、全印 工連より安いよ」と、よくそんな声を聞く

本当に安いかどうか、いまいち分かりません。その場合、見積書を全印工連の事務局に見せてください。それで、「これに合わないか」「これに合わせられないか」と言ってもらえたらそれは…。ベンダーさんの名前は黒く消しておいてもいいですから、それに対しては全印工連の事務局も柔軟に対応したいと思っていますので、ぜひ、一報入れてください。聞くだけはタダなので、ぜひ、お願いします。

#### ●ライセンスが 10 月末で切れる

個人版を使っていて、社長さんも MacBook とか。 これは会社とは関係無くて、プライベートで使って いたり、仕事で使っていたりするから、社長さんの MacBook は個人版で、自分の個人のクレジット決済 で入っている。そんな人もこの中におられるのかなと 思います。こういう人こそ、1ライセンスからでも全 印工連に入ってください。そうすると何がいいか、1 ライセンスでもあれば、年6回のテクニカルセミナー が受けられる。社員の皆さん全員で「あっ、こんなこ とあるの」みたいなかたちのテクニックが学べるよう になるのです。今までの社長さんの、なんかちょっと 格好つけた MacBook に個人版が入っているというの は、やはりこれに変えてもらうだけで、社員教育に十 分役に立ちますので、ぜひ、これ 10 月からでも。10 月末切れるような方とかいらっしゃったら、まず、こ こから入ってください。

#### ●組合員増強

北海道工組は、この Adobe のライセンスを入れたいがために、組合の会費を払ってもメリットがあるので、約40か50ライセンスぐらい大量の加入をしていただきました。それは組合員の増加につながります。

#### ●東京のある支部で不思議な例

一旦ある会社が組合を、「退会します」と退会届を出しました。退会届を出して少ししたら、結局、Adobeがそのあと使えないということに気づき、「これは大変だ」ということで、また再入会したというそんな例もあります。

かなり Adobe そのものというのは、先ほどのツールに十分使える重要なものですので、ぜひ8つ、いま簡単に話しましたが、地元の方にお伝えして、1本でも1社でも多くのライセンスをご加入いただけますよう、よろしくお願いします。

## 【全印工連フォーラムでの 2023 全日本印刷文化典広島大会 のPR】

#### <中本大会委員長あいさつ>

我々は、2018年に高知大会が開催されまして、その翌年2019年に実行委員会を立ち上げました。しかし2020年、予定されておりました長野大会が1年延期となりまして、そして2021年、残念ながら長野大会が中止となってしまいました。我々は、長野県工組さんの準備をされてきました4年間の熱い思いを受け継いで、是非とも広島大会を成功させたいと思っております。

来年は皆さんもご存じの通り、5月にG7広島サミットが開催されますし、そして、10月にはこの広島大会を開催いたします。広島での開催は、なんと50年ぶり

ということになります。 [来年は、広島は当たり年かな] と思っておりますので、是非とも皆さま、広島にお越 しください。お願いします。お待ちしております。



#### <宇都宮大会実行委員長あいさつ>

大会は 10月 13~ 14日、リーガロイヤルホテル広島にて開催します。前日に「夢メッセ」というものを毎年開催しておりますけれども、12日と 13日を使いまして開催します。メーカー・ベンダーの皆さん、選りすぐりのお話を用意させていただいております。全国の会員の皆さんが聞いていただくということで、特に力を入れた企画を練っております。ぜひ、前日から予定をあけていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

また、原爆ドームもサミットが5月に予定されておりますので、資料も多分一新されると思います。修学旅行等で参加して以来、行ったことがないという方々もおられると思います。ぜひ寄って、世界平和、また、日本の将来のことについて、一緒に考えてお話をしたいと思っております。

また、厳島神社も改装し真っ赤な鳥居になっております。ぜひ、こちらも寄っていただければと思います。

キャッチフレーズとして、「真っ赤に燃やせ!印刷魂



〜水の流れが大地を創る。人の心が未来を開く〜」を掲げております。「真っ赤に燃やせ!印刷魂」、広島東洋カープの赤の色です。地元愛というのが強い広島としましては、広島カープが勝つとすごく盛り上がります。そういった雰囲気も含めて、感じ取っていただければなと思います。「水の流れ」というのは、水の都市。すごく橋・川が多い町になっております。広島城もありますし、ぜひ、そういったところを体感していただければと思います。

皆さんと、未来の日本のことについて語りたい、印刷産業を盛り上げることはもちろんですけれども、この世の中、何か間違っているなとか、いろんなことを考えることが多いのではないかなと思います。コロナにしてもそうです、戦争にしてもそうです。本当に我々の将来の子どもたち、孫にとっていい社会になっているのかどうか。これは、長野県印刷工業組合の実行委員会とお話をした時もそうです。将来の子どもたちのために、自分たちはどうすればいいかということを、皆さんと話をしたいと言っておられました。

我々広島県印刷工業組合も同じです。業界のことはもちろんそうです。日本自体がどのような方向性に行くかということを、我々印刷業界の一人一人がしっかりと自分の心で決めて、その世の中に向かっていくように、自分たちが努力していかなければいけないのではないかなと思っております。

## FUJIFILM

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

代表取締役社長

## 辻 重紀



株式会社 **SCREEN** GPジャパン 中国営業所/082(264)6451 〒732-0824 広島県広島市南区的場町一丁目2-21 広島第一生命OSビル

## 第65回 広島県印刷優勝野球大会

3年振りに広島県印刷優勝野球大会を開催します。 例年の5月開催を順延しての11月開催です。 涼しい季節ですが、感染対策を施しながら、8 チームによる 熱い試合を期待してます。

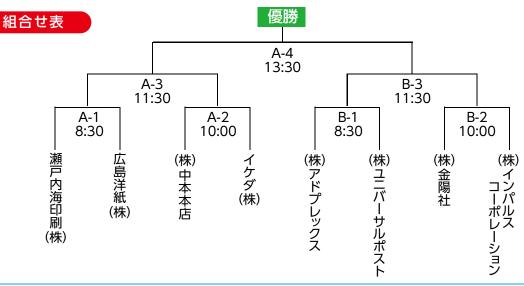
11月6日(日)(予備日 11月13日) 日時

\*新型コロナ感染症拡大対策の為、開会式は行いません。

場所 太田川河川敷八木グランド(A・B)

参加チーム 8チーム 試合開始 8:30





## 事務局だより

#### ◎ 組合のうごき

丩

	5⊟	夢メッセ三役会・拡大理事会	印刷会館
10	21日	夢メッセ開催(1日目)	広島ガーデン
	22日	夢メッセ開催(2日目)	パレス
月	28⊟	印刷関連業界親睦ゴルフ	安芸カントリー
	29日	全青協中国ブロック協議会	岡山

	6⊟	印刷優勝野球大会	八木地区 太田川 グランド
	9⊟	産業戦略デザイン室	東京
11	11⊟	中国地区事務局研修会	広島
月	13⊟	印刷優勝野球大会 予備日	八木地区 太田川 グランド
	17日	常任役員会・理事・政連	東京
	18⊟	CSR推進委員会	東京

# 泉紙業株式会社

●733-0833 広島市西区商工センター6丁目7−15 TEL (082)277-6266(代表) FAX (082)278-3578